



学校教育目標 やさしく 生きる
学校経営目標「みんなのやさしさに『ありがとう』
笑顔あふれる小木の学校」

<学校経営の基本理念>

○みんなで、子どもたちの思いを実現する

○みんなが、予測できない未来に対応し、豊かな未来を築いていく力を育む

学習指導要領

静岡県教育振興基本計画
富士市教育振興基本計画

保護者・地域の願い
子どもの実態

南中校区小中一貫教育ビジョン めざす子ども像「やさしく 生きる」

<めざす子どもの姿>

- 互いの違いを受け入れながら、よりよい方向へ踏み出すことができる子
- 他者との温かな関わりを意識した挨拶のできる子
(おはよう こんにちは さようなら ありがとう ごめんなさい)
- 自ら、健康的で規則正しい生活ができる子

PLAN

重点目標「みんなのやさしさに 『ありがとう』」

DO

知

「まなびのたね」から
「みんなと解決する力」を育む

徳

「やさしさのたね」から
「人(自分・相手・みんな)」を
思いやる力」を育む

体

「けんこうのたね」から
「みんなとチャレンジする
力」を育む

「三つのたね」が「三つの力」となり、「大切な自分」が育つ

子どもを支える指導体制→心の居場所のある温かい人間関係・子どもの人権を守る・特別支援教育
学級・学年・学校文化の創造→子どもが主役のみんなの学校・確かな学年学級経営と子ども理解
授業改善 研修テーマ「聴いて つなげて 考える」

家庭・地域と共につくる学校→社会に開かれた教育課程・コミュニティスクール(学校運営協議会)★
る 他者意識をもった温かなあいさつの推進★

安全・安心な学校→命を育む健康教育、6年間での系統的な防災教育★、学校全体をほっとルームに

★：CSのかかわり

CHECK

ギガタブレットを授業で活用している 90%
安心して任せられる学校である 98%
R7 学校評価アンケート結果

楽しく学校に通っている 94%
学習したことがよく分かっている 90%
友達にやさしくしている 95%
R7 学校評価アンケート結果

児童・保護者・教職員アンケート、外部評価、学校運営協議会、学校評価委員会等

数値目標 90%以上

ACTION

課題解決が可能な改善案を様々な角度から考え、実践する

ステージ1「つくろう」(4月～5月) ステージ2「のぼそう」(6月～前期終業式) ステージ3「ひろげよう」(後期始業式～1月) ステージ4「つなげよう」(2月～3月)

コミュニティ・スクール「小木の子」

～子どもは地域の宝 地域と共につくる学校～

学校運営協議会での熟議

- ◎子どもの学びを共に創る 読み聞かせ けやきの学校(平仮名・音読・計算など) トークフォークダンス 広報誌等で発信・募集
- ◎安心・安全な学習環境や生活環境づくり 学習活動補助 環境整備 校外活動支援
- ◎学校と地域との連携体制づくり 各種団体との意見交換 夏のワークショップ



《三校一貫目指す子ども像》 やさしく いきる

学校教育目標 『やさしく いきる』

重点目標

「みんなのやさしさに『ありがとう』」

子供の実態 (○よさ・▲課題)
○素直でのびのびしている
○言われたことをしっかりできる
▲自分らしさを出せない子がいる
▲相手を傷付ける言葉を使うことがある
保護者・地域の願い
自分や相手を大切にする子どもになってほしい

★確かな学力
(資質能力の育成)

知

★豊かな人間性

徳

★健康・体力

体

まなびのたね

みんなと かいけつする力

《目指す姿》

- ・自分事として考える子
- ・相手を尊重して聴く・伝える子
- ・安心して、わからないと表現できる子

★学力向上

- ・一人一人の子どもを理解し、認める学級づくり
- ・子どもとつくる学びの種コーナー
- ・「～たい」が生まれる自分事の授業を目指した講師招聘
- ・「～たい」が生まれる自分事の授業を目指した校内研修

★情報の活用

- ・各分野における ICT の効果的な活用。
- ・学びのツールとしての「タブレット・本」の活用充実。
- ・ICT について教師が研修する時間の確保充実。
- ・「昼ぐんぐん」に「読書旬間」「タイピング技能向上週間」の設定。

やさしさのたね

人(自分・相手・みんな)をおもいやる力

《目指す姿》

- ・自ら進んで行動できる子
- ・人に『ありがとう』を伝えることができる子
- ・人の良さや頑張りに気付き、認め合うことができる子

★生徒指導

- ・学校いじめ防止対策基本方針と生徒指導要を意識した対応
- ・いじめアンケート、いじめ把握シート、ヤングケアラ―調査の活用
- ・生活目標を活用し、振り返る

★特別活動

- ・異年齢で関わり合う活動 (代表委員会・にこにこタイム・クラブ活動)
- ・児童が計画、運営する活動 (児童集会や委員会・二小祭り)
- ・小中一貫活動 (あいさつ運動・三校合同特活会議)

★道徳教育

- ・道徳の授業の充実
- ・重点内容項目「親切・思いやり」
- ・道徳コーナーの設置 (重点内容項目を進化・蓄積)

けんこうのたね

みんなと チャレンジする力

《目指す姿》

- ・「はやね・はやおき」を続ける子
- ・安全に気を付けて生活する子
- ・体づくりの楽しさを見つける子

★体育

- ・運動会の全校開催
- ・体育器具の整理、整とん
- ・昼休みの活性化
- ・アイディア活動の充実 (フリスビードッジボール大会等)

★健康・安全

- ・学校保健委員会 (5年)
- ・薬学講座 (6年)
- ・健康診断、身体測定時の保健指導
- ・ストレスチェック (5、6年)
- ・ほっとルーム担当、SC、SSW 連携
- ・おやこんぼ(メディアコントロール)
- ・こども見守り活動の継続
- ・交通教室 (1、4年) 自転車教室 (4年) 避難訓練 (地震・火災) 引き渡し訓練、あぶトレ実施 (4年)
- ・職員安全教育研修 (火災、地震、浸水、不審者対応、交通安全) の実施

「自分」をつくる

「チーム富士第二小」をつくる

実施するために何が必要か

★居場所づくり(教職員集団が子どもを支える指導体制)

- ・南中校区小中一貫ビジョンに基づく「五つのつなぐ」取組の充実
- ・「ほっとルームの運用」から「学校中がほっとルーム」へ
- ・ぐんぐんタイム、昼ぐんぐんタイムの効果的な運用
- ・「教科担任制」「学年担任制」「サポートはチームで」による複数支援

★絆づくり(学級・学年・学校文化の創造 地域と共にある学校)

- ・園小・小小・小中連携によるスムーズな接続
- ・CSD による学習サポートや環境整備等のコーディネート(募集・企画)
- ・個人面談、授業参観、懇談会、便り、マチコミメール、HP、ライデンスクール等による情報発信と信頼関係づくり

★自己決定(子どもが主役 安全・安心な学校)

- ・各学年に防災教育担当を配置
- ・毎月15日は全職員で見守り時間
- ・月朝の迎え入れ、金屋のやさしさタイムの位置づけ
- ・保護者や地域の皆様による登下校の安全見守り
- ・予定プリントによる見通しをもった生活づくり

生徒指導要

学校経営目標

「みんなのやさしさに『ありがとう』 笑顔あふれる小木の学校」